

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 24	
企画名	そのプログラムに魂を入れる
日時	2016年6月12日(日) 09:30～11:30
会場	第14会場 (台東区民会館 9階 特別会議室(大))
企画責任者	横谷省治 (筑波大学医学医療系 北茨城地域医療教育ステーション)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>当学会の家庭医療後期研修プログラムは既に13年以上の歴史があり、現在その数はバージョン2プログラムだけでも300以上、バージョン1プログラムと合わせて460を超える。この中から新しい総合診療専門研修プログラムとして申請したところも多いと思われる。しかし、どのプログラムも順風満帆に運営されてきたわけではない。残念ながら専攻医のエントリーがないプログラムもある。プログラム責任者は良いプログラムの設計に心を配るのは勿論である。しかし、それだけではプログラムから家庭医療専門医が輩出するには至らない。専攻医をリクルートし、能力ある臨床家を育成し、生き生きと学ぶ専攻医の姿がまたリクルートに繋がるという好循環を回していかなければならない。</p> <p>プログラムが実際に動きだし、好循環が回りだす原動力、すなわちプログラムの魂は何であろうか。本ワークショップでは、上手く運営できているプログラムよりも、困難を感じているプログラムの責任者や指導医の参加を求め、その困難を突破するための鍵を掴むことを目的とする。</p>	
<p>【概要】</p> <p>ワークショップはミニレクチャーとグループワークで構成する。(1) グループワーク：なぜ困難に陥っているのか、課題は何かを抽出する。(2) ミニレクチャー：学習のための共同体とそこにおける学習・熟達化、組織の社会的使命や目的、目的達成のために組織をいかに機能させるかなど。(3) グループワーク：ミニレクチャーをヒントにプログラムを機能させるための鍵について検討する。</p> <p>グループワークで知恵を出し合い、このワークショップで掴んだ成果を持ち帰って、プログラム運営に役立てていただければと期待する。そのために同一プログラムから複数名の参加も歓迎する。</p>	